



せんべい取り競走



みんなそろって記念撮影



雪とうろうまつりを見学

城南ドルフィンズスキーツアー 43人で満喫の2日間

前から、ドルフィンの仲間
でスキーに行きたいとの声が多
く、父母で有志実行委員会を形
成し、ついに実現しました。2
月26日(土)27日(日)、日光湯元ス
キー場での開催です。

2歳~大人までが2日間にわ
たり、とにかく滑りまくりまし
た。スキー初体験の4歳グルー
プも、はじめは怖がっている子
もいました。最後は一人で直
滑降、ボーゲンと上達の早さに
びっくりしました。

ほとんどの子がリフトに乗
り、スキー場の頂上から、ゲレ
ンデまで滑っていました。

ドルフィンのコーチ(水泳の
コーチ)も4人参加し、献身的
に子どもたちにスキーを教えた
成果です。夜は雪灯籠まつりも
あり、本当
に大満足の
2日間でし
た。

ドルフィ
ンは3月
記録会、6
月ハイキン
グ、そして
7月は年間
最大イベント
の海の合
宿(やるぞ
遠泳)と続
きます。

透析部門の入るアネックス棟もついに全面完成



新大田病院 正面入口ロータリー

正面入口利用は4月1日より(今までの入口は救急搬送専用となります)



活発な議論が行われました

東京民医連 第4回西南ブロック活動交流集会 204人の参加で事業所のとりくみを報告

2月19日(土)、東京民医連に加
盟している事業所の職員が集ま
り、活動交流集会が開催されま
した。西南ブロックは、大田
品川、目黒、中野、渋谷、新宿
など東京の西南地区に事業所の
ある地域です。

交流集会では、4つの分散会
で36演題が発表されました。ど
の分散会にも共通していたの
は、在宅の医療
介護の事例が多
数報告されたこ
とです。城南3
法人からは9演
題の発表があり
ました。

城南福祉医
療協会の平和島
訪問看護ステ
ーションからは、
「自宅で療養す
る事を強く望ん
でいる一人暮らし
のA氏への支
援ー骨転移によ
る疼痛緩和に取
り組んでー」と

という演題発表がありました。

A氏は癌末期でしたが、住み
慣れた地域で親族や友人に囲ま
れて暮らしたいと強く望んでい
ましたが、当初は「こんなに痛
いのなら死んだ方がいい」と訴
えていました。薬が処方されま
したが、初回服用時に指示され
た量より多く飲んでしまいました
。夜中吐き気がして辛かった
ため服用を拒否。その後内服を
再開することができ、疼痛緩和
できましたが十分ではなく、身
体を動かしても痛みを感じな
い状態まで達成できたら、や
りたいこと、やり残したことが
行えるのではないかと考え、A
氏の親族や医師などと相談しな
がら、訪問回数を増やしてい
きました。5カ月間関わって行く
中で自分の思いを表に出される
ようになり「今が一番幸せ」と
いう言葉を聞くことができた

6月は「お元気ですか？」 地域訪問行動です

詳細は次号でお知らせします。

「城南の保健」手配りボランティア募集

城南の保健は組合員と協力医療機関、事業所職員のボラン
ティアによって、手配りで配達されています。少なくない数
の世帯に郵送をしています。手配りは組合員どうしの助け合
いでも大変重要な活動です。配る部数は1人20部を目安にし
たいと思います。皆さんのご協力をお願いします。

西品川 2丁目9~10	30件	多摩川 1~2丁目	11件
西品川 2丁目18	7件	南馬込 2丁目	19件
豊町 2丁目18	7件	田園調布 4丁目	4件
東品川 1丁目	12件	田園調布 5丁目	6件
南品川 1~2丁目	13件	北千束 1~3丁目	24件
南品川 5丁目	20件	仲池上 1丁目	7件
北品川 2丁目	13件	大森東 3丁目17~19	4件
北品川 3丁目	6件	大森東 5丁目18~19	6件
南大井 2丁目	13件	大森東 5丁目31	6件
八潮 5丁目1	18件	大森南 1丁目1~13	80件
二葉 1丁目	59件	大森南 3丁目25~28	16件
西大井 4丁目	32件	北糀谷 3丁目14~43	46件
旗の台 6丁目	12件	西糀谷 4丁目	52件
荏原 1丁目	16件	大森西 3丁目4~7	15件
東六郷 2丁目19~20	4件	大森西 3丁目20~27	14件
東六郷 3丁目	74件	大森西 4丁目13~18	15件
南六郷 2丁目10~19	22件	大森本町 2丁目5~6	5件
南六郷 3丁目1~15	16件	蒲田 1丁目	60件

という事です。

A氏の場合、一人暮らしとい
う厳しい条件の中で在宅療養が
継続できたことは、献身的な親
族の介護が大きく、また、介護
に当たる親族への精神面への支
援が行えたことも重要であつた
との報告がありました。

全体会では沖縄県民医連事務
局長の内間均さんが「普天間基
地の問題ー沖縄のたまたまいど
こまで来たか」というテーマで
の講演がありました。世界一危
険な「普天間基地」について
米国内法では決して許されな
い、クリアゾーンという900
坪四方に民家があつてはならな
い、基地の隣接地に民家が取り
囲んでいる実態や現在飛び交う
「CH53」というヘリコプター
などは、耐用年数が過ぎていて
いつ事故が起きても不思議では
ないと発表されました。

さまざま報告があり、これ
からの私たちの活動に生かして
いきたいと思ひます。